

音楽アーティスト科 ヴォーカルパフォーマンスコース 受講科目一覧 2年次

ダンスヴォーカル専攻

文化・教養専門課程（文化・教養分野）

1 単位時間

45分

授業科目		年間授業 時間数	週授業 時間数	単位数
講義	一般教養Ⅱ	74	2	4
講義	音楽理論/調音Ⅱ	74	2	4
講義	アイソレーションⅡ	74	2	4
実習	作品制作	148	4	4
実習	歌唱/演奏実技Ⅱ	74	2	2
実習	分野別実習Ⅱ	74	2	2
実習	歌唱演奏基礎技術Ⅱ	74	2	2
実習	歌唱演奏応用技術Ⅱ	74	2	2
実習	サウンドアナライズⅡ	74	2	2
演習	アンサンブル基礎Ⅱ	74	2	4
演習	アンサンブル応用Ⅱ	74	2	4
合計		888	24	34

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	分野別ゼミ		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	一般教養Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカルパフォーマンス				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 <input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴					
授業概要					
主にパフォーマンスアートの歴史(音楽史、演劇史、芸能史、身体表現の歴史)を通してこれらの体系を理解することでアーティストとしての自らの在り方を探ると同時に、哲学などを学びながらそれらのエッセンスを加味することによりそれぞれの美学に立脚した活動を促す。					
到達目標					
オリジナルパフォーマンス、オリジナルアンサンブル、セッションワークなどの様々なパフォーマンスアートの理論を通してそれらコンテンツの基本構造を理解し、実際の表現学習の類型を体系的に捉えることにより知識量を飛躍的に向上させます。またプロフェッショナルへの入り口として技や演出力のレベルを上げ、実際のショービジネスの世界で通用しうるかのシビアナ目線によって、より高度な表現方法への造詣を深め、且つ表現者としてそれらを体得していく。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	エンタテインメント作品とは歴史や人間性など人生哲学がダイレクトに投影されるという視点から様々な先人の類型を紐解きながらアーティストとしての生き様を討議などを交えて考え出していく。
【前期】 5～8回目	音楽の起源から中世・ルネッサンス、バロック、典派、ロマン、近代・現代の音楽と作曲家、また現代ポピュラーミュージックへ多大な影響を与えたアメリカンルーツミュージックの体系・系譜を学びそれらが現代音楽へ与える影響を推察する。
【前期】 9～12回目	日本の音楽史の中でポイントとなる雅楽、声明、琵琶楽、能、文楽、歌舞伎、地歌、箏曲、尺八などの演奏、発声、ステージシステムなどを体系的に理解しそれらが現代音楽へ与える影響を推察する。
【前期】 13～16回目	身体表現の歴史では舞踏やダンスは様々なスタイルの累積により進化し、過去から現代へと融合し、新たなムーブメントが生み出される。そのルーツやスタイルの系譜を見ながらそれぞれの表現の成り立ちを推察する。
【前期】 17～19回目	演劇の起源、古代ギリシア、宗教との関わり、シェイクスピアなどの劇作家の登場、貴族、大衆文化による発展など西洋演劇史と日本の古代から中世にかけての伎楽、猿楽、田楽、能、狂言など、また近世の歌舞伎、人形浄瑠璃などの在り方を学ぶ。 ■前期試験:筆記試験にて、前期で学習した内容の理解度を確認する。
【後期】 20～23回目	近世の歌舞伎役者から戦前戦後のテレビ、漫才、落語、コント、ドラマ、時代劇、マジック、ラジオなど大衆文化の担い手となったコンテンツが何故、人気を博したかの推察を行う。また、芸能事務所、エージェンなどの担った役割も解説する。
【後期】 24～27回目	デジタル技術やインターネットの普及によって、パフォーマンス側が自らのイベント情報を発信し、直接オーディエンスやユーザーと繋がり、ダイレクトにビジネスを行なうことが可能な時代において自らが自分という商品のブランドを高め、且つビジネスの知識、業界の仕組みを知らないとセルフプロデュースを試みられないことから現代におけるプロデュース論を学習する。
【後期】 28～31回目	コンサートの企画・立案から運営まで、またステージにおける音響、照明、テック、ローディー、舞台監督など技術系スタッフの動きや役割などの全般理解を行い、多角的な視点でイベント運営を見つめられるようにする。
【後期】 32～35回目	民族交流や伝播による世界各地の思想・宗教・文学・歴史・民俗・美術・音楽などの発生を知ると同時に、新たな地域文化が生まれる際のメカニズムなどを推察していく。
【後期】 36～37回目	ビジネススキルとして対人関係、主にコミュニケーション、会話、交渉、プレゼンスキル、コーチングなど、また自己管理としてスケジュール、目標、タスク管理術を理解させ、一社会人として業界で活躍できるようにこれらの有効性を学習させる。 ■後期試験:筆記試験にて、後期で学習した内容の理解度を確認する。
評価方法	前期試験、後期試験ともに筆記試験を実施し、S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価を行う。
学生へのメッセージ	一般教養は、社会人としての必須条件であり、特に就職希望者にとっては大変重要な知識となります。アーティストとして活動する為のノウハウ、音楽業界で活躍する為に必要な知識を習得し、自身の音楽活動に活かしてください。また、音楽業界に求められる人材として自己をアピールできるように、様々な教養を身につけていくことを目的としています。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	サイトシンギングⅡ		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	音楽理論/調音Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/ヴォーカルパフォーマンス				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	KAN、浜崎あゆみ、林原めぐみなど様々なアーティストのバックコーラスやレコーディング制作に携わる。 23歳の時にアニメセイバーマリオネットact5エンディング「風の詩を聴きながら」でメジャーリリース。 その後ヴォイストレーナーとして多数アーティスト(元生徒はDAIGO、太田在etc)の指導を行う。 上記の経験を活かし楽曲制作並びに音楽理論の実技指導を行う。				
授業概要					
歌のメロディを支えているコードや他の楽器の知識を深める。 ダイアトニックコード聞き取り、作詞、作曲をする。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・曲の構成を理解してメロディとコードの関係を深く知る。 ・メロディ及びハーモニーの読譜ができるようにする。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	123456メロディ発声、カットタイム、ピブラート、マイナースケール、リズムトレーニング。
【前期】 5～8回目	7度インターバル、ハーモニー歌唱、オリジナルメロ歌詞作成。
【前期】 9～12回目	3連と8分の紹介、16リズムトレーニング、ボリュームと共鳴、メジャーコードについて。
【前期】 13～16回目	マイナーメロディー歌唱、読譜トレーニング、マイナーインターバル。
【前期】 17～19回目	3声ハモリ、コード進行作成、オクターブメロディ発声、6/8 ■前期試験:筆記試験により「コードやインターバル理論の理解力 / イヤトレカ / 読譜力」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	声の響かせ方、マイナーコードの紹介、メジャーとマイナーの練習、ハモリ歌唱。
【後期】 24～27回目	完全オリジナル作成、オクターブメロディー、3連と4分について。
【後期】 28～31回目	マイクテクニック、Dim、Augのコードの紹介、インターバル、オリジナル作成。
【後期】 32～35回目	メロディー読譜練習、リズムチェック、サイエンステスト、ピッチチェック。
【後期】 36～37回目	インターバルクイズ、ハモリ練習、オリジナルレコーディング。 ■後期試験:筆記試験により「コードやインターバル理論の理解力 / イヤトレカ / 読譜力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「コードやインターバル理論の理解力 / イヤトレカ / 読譜力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	コードとメロディーを理解してオリジナル曲を作り歌えるようにする授業です。ハモリも聴きとれる力を身につけます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ダンスベーシック&アイソレーションⅡ		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	アイソレーションⅡ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカルパフォーマンス/ダンスパフォーマンス				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	・2006年よりダンスを始める。ダンスバトル Carnival Waack 優勝、WDC 2021 JAPAN FINAL Waack Best4等、コンテスト多数入賞 ・TOYOTA 九州沖縄、西日本シティ銀行 CM振付 ・DAIGO バックアップダンサー 上記の経歴を生かし、職業として求められる「ダンス技術、表現力等」の指導を行う。				
授業概要					
ストリートダンスに必須な基礎的なムーブや技術、アイソレーションと呼ばれる体の各部位を個別に動かす方法を、ダンスミュージックに合わせてコントロールする方法を習得する。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・ストリートダンスの基本であるアップとダウンに加え、様々なリズムを理解する。 ・様々なジャンルのダンスのベーシックな動きを理解する。 ・ベーシックな動きを音楽に合わせる方法を理解する。 ・楽曲に合わせて、アイソレーションや基本的な動きをコントロールすることができる。 ・様々なジャンルのベーシックな動きを使い分けることができる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	ロジャーラビット、ハッピーフィートなどのムーブのレクチャー、さらにそれを用いたダンスルーティーン(振付)の練習
【前期】 5～8回目	ジャーク、チャールストンなどのムーブのレクチャー、さらにそれを用いたダンスルーティーン(振付)の練習
【前期】 9～12回目	パーティマシーン、スポンジボムなどのムーブのレクチャー、さらにそれらを用いたダンスルーティーン(振付)の練習
【前期】 13～16回目	様々なダンスベーシック、アイソレーションを含めた振付の練習
【前期】 17～19回目	様々なダンスベーシック、アイソレーションを含めた振付の練習、発表、前期の振り返り ■前期試験:ダンスにおける「リズム感 / スキル / シルエット」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	モネストリー、クロスステップ(HOUSE)などのムーブのレクチャー、さらにそれを用いたダンスルーティーン(振付)の練習
【後期】 24～27回目	ツーステップ(HOUSE)、ピーターポール(HOUSE)などのムーブのレクチャー、さらにそれらを用いたダンスルーティーン(振付)の練習
【後期】 28～31回目	HOUSEの細かいテクニックやステップのレクチャー、さらにそれらを用いたダンスルーティーン(振付)の練習
【後期】 32～35回目	様々なダンスベーシック、アイソレーションを含めた振付の練習
【後期】 36～37回目	様々なダンスベーシック、アイソレーションを含めた振付の練習、発表、後期の振り返り ■後期試験:ダンスにおける「リズム感 / スキル / シルエット」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム感 / スキル / シルエット」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	1年次に学んだ基礎的なテクニック、アイソレーションをさらに熟練させ、音楽に合わせることでより高度なダンススキルを習得することができます。授業で学んだ内容を復習し反復練習することで、自身の更なるスキルの向上につながります。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタジオワーク		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	作品制作	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカルパフォーマンス/ダンスパフォーマンス				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	・TRFツアーバックアップダンサー、中西圭三LIVE R35 バックアップダンサー ・Jean Paul Gaultier 2012,13ファッションショー振付 上記の経歴を活かし、職業として求められる「ダンスと歌唱の技術、表現力、創造力等」の指導を行う。				
授業概要					
基礎課程で積み上げてきた知識、技能の総体としてクリエイティブな応用実践で音楽やパフォーマンス作品を作り上げていきます。また、グループプロジェクトとして企画、打合せ、譜面制作、リハーサル、レコーディング、ステージ本番に至るスケジューリングを行い、構成員の考えや芸術観などお互いにコネクトしながらより良い制作の方法を考えることにも重点を置きます。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・エンターテインメントの基本構造の理解、表現学習、作品制作、ステージ発表などを習得のサイクルとし、徐々に表現レベルを上げていきます。 ・メンバー全員でひとつのプロジェクトを作ることを経験し、今後の活動に生かすことが出来るようにし、且つクオリティーの高い楽曲制作と演奏が出来るようにシミュレーションを重ねます。 ・自身のポテンシャルを高めて、将来的な可能性の幅を広げることが可能になります。 ・チームワーク、協調性を養います。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	決められたメンバーと協力し合い、ひとつのプロジェクトを作り、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジューリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【前期】 9～16回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【前期】 17～24回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【前期】 25～32回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【前期】 33～38回目	前期の授業で制作してきた作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■前期試験：作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
【後期】 39～46回目	後期はより高度なプロジェクトコンセプトをグループごとに思考し、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジューリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【後期】 47～54回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【後期】 55～62回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【後期】 63～70回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【後期】 71～74回目	後期の授業で制作した作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■後期試験：作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	一作品をグループで作り上げるプロセスの中で生じる葛藤や苦悩という生みの苦しみを経験しながら、作品完成時に感じる達成感や喜びを授業を通してシミュレーションしておきましょう。また基礎課程で培ったパーツを組み合わせる応用課程のクリエイティビティも存分に発揮してください。
備考	鑑賞DVD「ウェストサイドストーリー」、「CATS」、「コーラスライン」等

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	歌唱実習Ⅱ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	歌唱/演奏実技Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/ヴォーカルパフォーマンス				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	<p>・双子の弟・YUKIとR&Bデュオ「R104」として活動を開始し、2011年よりR&Bコーラスグループ「FREAK」として活動。avexから6枚のフルアルバムをリリースし、ZEPP FUKUOKAでのワンマンライブも行った。</p> <p>・作詞・作曲を自身でこなし、現在はソロでのリリースも精力的に行っている。</p> <p>上記の経歴を活かし、職業として求められる「演奏技術、アンサンブル力、表現力等」の指導を行う。</p>				
授業概要					
<ul style="list-style-type: none"> ・ヴォイストレーニングなどで習得した発声法などを、実際に楽曲を歌う中で用いる。 ・楽曲の良さを引き出せるように、曲の流れ、波を表現する方法を様々な角度から練習する。 					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・自分のクセを知り、楽曲の良さを表現できるようになる。 ・曲の理解度を高めることで歌唱に必要なテクニックも知っていくことができるようになる。 ・Coverの意味を理解する。 ・オリジナルの「色」を作れるようになる 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	・自分の音域と平均音域の確認・自分に合ったKey合わせ・発声①自分の声作り 自分の良い声で歌う練習
【前期】 5～8回目	・子音の仕組みと音作り・発声②音程の強化 跳躍音や半音、色々なスケールを使って練習
【前期】 9～12回目	・A、B、サビ、ブリッジなどの差別化・世界観作り・発声③ポルタメントの習得 アクセントの習得
【前期】 13～16回目	・カバー曲を練習しながらアナリーゼ(楽曲分析)・発声④ビブラートなど技術の習得
【前期】 17～19回目	<ul style="list-style-type: none"> ・自由曲を上記の課題をクリアしながら練習 ■前期試験:歌唱実技により「表現力 / ピッチの正確さ / リズム感」の3項目の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	・前期の発声①～④の復習・ビート・リズムを課題とした曲決め→練習(R&B・レゲエ・シャッフル系)
【後期】 24～27回目	・発声⑤リズムを刻みながらの声出し・洋楽カバー曲の練習
【後期】 28～31回目	・発声⑥声質の変化・フレーズの中、曲の中で声質を変化させ表情をつける練習
【後期】 32～35回目	・課題曲を決め、本来の曲の良さとおアプローチを変え練習・オリジナルとしてのカラー作りの練習(オリジナルソングがある人はその曲でもOK)
【後期】 36～37回目	<ul style="list-style-type: none"> ・1年を通して学んだことを自由曲2～3曲にて表現する ■後期試験:歌唱実技により「表現力 / ピッチの正確さ / リズム感」の3項目の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「表現力 / ピッチの正確さ / リズム感」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	楽曲にはそれぞれ本来持っている良さがあり、それを知って表現できていくのがコピーになります。そして生徒さん一人一人にも本来の良さがあります。そこを磨いてカバーソング・オリジナルソングを歌えるようになってほしいです。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヒップホップⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	歌唱演奏基礎技術Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカルパフォーマンス				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	・TRFツアーバックアップダンサー、中西圭三LIVE R35 バックアップダンサー ・Jean Paul Gaultier 2012,13ファッションショー振付 上記の経歴を活かし、職業として求められる「ダンスと歌唱の技術、表現力、創造力等」の指導を行う。				
授業概要					
HipHopと言っても様々なカテゴリーがあるので、時系列で習得する。					
到達目標					
・あらゆるHipHop danceを理解し、振付をマスターする。 ・文化であるHipHopをダンスの分野から理解する。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	HipHop創世記のダンス～Breaking
【前期】 5～8回目	New Jack Swing 基礎
【前期】 9～12回目	New Jack Swing 振付
【前期】 13～16回目	Old school HipHop 基礎
【前期】 17～19回目	Old school HipHop 振付 ■前期試験:ダンスの実技により「リズム感/完成度/理解度」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	New school HipHop 基礎
【後期】 24～27回目	New school HipHop 振付
【後期】 28～31回目	Millennium HipHop 基礎
【後期】 32～35回目	Millennium HipHop 振付
【後期】 36～37回目	振付まとめ ■後期試験:ダンスの実技により「リズム感/完成度/理解度」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム感/完成度/理解度」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	今一番注目を集めているダンスです。その歴史をも網羅して学んでいきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヴォイストレーニングⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	歌唱演奏応用技術Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/ヴォーカルパフォーマンス				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	2011年LA、2012年NYにてヴォーカルLIVEパフォーマンスを行い、国境を越え活動。NYにおいて毎月のイベント出演や野外イベントへの出演等を経験。現在も九州においてヴォーカリストとして幅広く活動中。 上記の経歴を活かし、職業として求められる「歌唱での表現力」の指導を行う。				
授業概要					
歌唱の基礎であるチェストボイス～ミックスボイス(ミドル)～ヘッドボイスの声区融合とリズム感を習得していく。また様々な歌唱テクニックを習得していく。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・様々なスケールを用い、声区融合を目指す。また、4分音符、8分音符、1拍3連、16分音符のリズムを体で理解し、歌唱へ反映させていく。 ・様々な歌唱テクニックを習得し歌唱へ反映させていく。 ・チェストボイス～ミックスボイス(ミドル)～ヘッドボイスの声区融合の習得。歌唱のためのリズム感を習得。様々な歌唱テクニックを習得。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	個人発声状態チェック。トレーニングメニュー説明&実践。スケール発声。リズムトラックを使ったリズムトレーニング。
【前期】 5～8回目	Level1の発声とリズムのトレーニングメニュー実践。課題曲①での実践。(チェストボイス、裏声、ウイスパー等のテクニックに挑戦。)
【前期】 9～12回目	Level2の発声とリズムのトレーニングメニュー実践。課題曲②での実践。(コブシ、しゃくり、フォールのテクニックに挑戦。)
【前期】 13～16回目	Level3の発声とリズムのトレーニングメニュー実践。課題曲③での実践。総合的ボーカルディレクション。
【前期】 17～19回目	まとめ。テスト対策。 ■前期試験：課題曲の歌唱により「発声に関する用語、仕組み/発声 / リズム」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	Level5の発声とリズムのトレーニングメニュー実践。課題曲⑤での実践。総合的ボーカルディレクション。
【後期】 24～27回目	Level6の発声とリズムのトレーニングメニュー実践。課題曲⑥での実践。総合的ボーカルディレクション。
【後期】 28～31回目	Level7の発声とリズムのトレーニングメニュー実践。課題曲⑦での実践。総合的ボーカルディレクション。
【後期】 32～35回目	Level8の発声とリズムのトレーニングメニュー実践。課題曲⑧での実践。総合的ボーカルディレクション。
【後期】 36～37回目	まとめ。テスト対策。 ■後期試験：課題曲の歌唱により「発声に関する用語、仕組み/発声 / リズム」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「発声に関する用語、仕組み/発声 / リズム」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	発声とリズムは歌唱の基礎で最も重要な技術です。しっかりと向き合うことにより確実に成長させましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	グループヴォーカルⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	サウンドアナライズⅡ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/ヴォーカルパフォーマンス				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	Rickie-G のバックコーラスをつとめる他、シンガーとしてライブサポート、レコーディング、社歌やサウンドロゴ等の歌入れも行う。 ミックキー吉野(ゴダイゴ)、中西圭三、HY、島袋優(BEGIN)など大物アーティストとの共演も多数。				
授業概要					
コーラス、ミュージカル、ゴスペルなどの楽曲を題材としたボーカルアンサンブル					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・グループ全体としての表現力、ハーモニーへの理解を深める。 ・ハーモニーへの理解を深め、楽曲のコード感、スケール、各パートの音使いなどを自身の耳で取れるようになる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	課題曲1(コンテンポラリーゴスペル1)
【前期】 5～8回目	課題曲2(ミュージカルソング1)
【前期】 9～12回目	表現・パフォーマンス(課題曲1 & 2をライブシミュレートパフォーマンス)
【前期】 13～16回目	課題曲3(スタンダードゴスペル)
【前期】 17～19回目	課題曲4(コンテンポラリーゴスペル2) ■前期試験:課題曲の歌唱により「歌唱時の音色(声色)の使い方 / 歌詞への理解度 / ハーモニー / 総合表現力」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	表現・パフォーマンス(課題曲1～4をライブシミュレートパフォーマンス)
【後期】 24～27回目	課題曲5(クリスマスソング)
【後期】 28～31回目	課題曲6(ミュージカルソング2)
【後期】 32～35回目	表現・パフォーマンス(課題曲1～6をライブシミュレートパフォーマンス)
【後期】 36～37回目	表現・パフォーマンス(課題曲1～6をライブシミュレートパフォーマンス) ■後期試験:課題曲の歌唱により「歌唱時の音色(声色)の使い方 / 歌詞への理解度 / ハーモニー / 総合表現力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「歌唱時の音色(声色)の使い方 / 歌詞への理解度 / ハーモニー / 総合表現力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	大人数で歌ってみることによる楽しさ、達成感をまずは知ること。そこから全体のリズム、グループ、ハーモニーなど聴きながらその中で自身の声や表現をどのようにパフォーマンスに繋げていくのかを感じていきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ライブ実習Ⅱ①		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	アンサンブル基礎Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカルパフォーマンス				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	・ミュージカル刀剣乱舞 ～結びの響、始まりの音～ 2018 アンサンブルダンサー出演 ・AKB48 41stシングル選抜総選挙、湘南乃風 風伝説 第二章 ～雑巾野郎 ポロポロ一番星 TOUR2015～ 演出、振付、出演 ・「倉木麻衣 / あしたセレンディピティ」ミュージックビデオ、「CHUCKY / YELLOW MONKEY」ミュージックビデオ出演 上記の経歴を活かし、職業として求められる「歌唱とダンスの技術、表現力等」の指導を行う。				
授業概要					
課題曲を使ってダンス&ボーカルの表現力・クオリティをあげる。映像撮影後自己チェックし、客観的に自己確認する。					
到達目標					
・ダンスサブな楽曲により、ボーカルのアプローチを学ぶ。 ・ステージエンターテインメントの意識向上。客観的視点を育てる。 ・ダンスボーカルとしてのクオリティが上がる。・フロントマンとしての心構え、メンバー、スタッフへのリーダーシップ向上 ・ステージ全体のアンサンブル力向上 ・ステージで、実際の現場と同じように周りのスタッフとやりとりができる。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	課題曲①アップテンポ女性曲、POPSリズムに乗りペース配分を考えてメリハリをつける。
【前期】 5～8回目	課題曲②アップテンポ男性曲ROCK、滑舌よくリズムにのり叫ぶところは叫ぶ、ワイドな歌唱。
【前期】 9～12回目	課題曲③ミドルテンポ女性洋楽、英詞のもつリズムをアナライズしてアクセント、響きを学ぶ。
【前期】 13～16回目	課題曲④ミドルテンポ男性洋楽、英詞のもつリズムをアナライズしてアクセント、響きを学ぶ。
【前期】 17～19回目	課題曲①～④の中からLIVE実習にむけて選曲し、リハを重ねる。 ■前期試験：課題曲の歌唱により「曲の理解 / ピッチ / グルーヴ / 表現力」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	課題曲⑤ミドルバラッド女性Vocal曲、ビブラートなどのバラッド技術を学ぶ。
【後期】 24～27回目	課題曲⑥ミドルバラッド男性Vocal曲、ビブラートなどのバラッド技術を学ぶ。
【後期】 28～31回目	課題曲⑦6/8などのバラッド曲、難しいリズム、3連を感じて歌う。
【後期】 32～35回目	課題曲⑧7/8や5/8が入る曲、キメなどをしっかりおとさずに巧みにのって歌う。
【後期】 36～37回目	課題曲⑤～⑧の中からLIVE実習にむけて選曲し、リハを重ねて発表。 ■後期試験：課題曲の歌唱により「曲の理解 / ピッチ / グルーヴ / 表現力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「曲の理解 / ピッチ / グルーヴ / 表現力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ダンスボーカルとしての歌のクオリティを上げるだけでなく、表現力を深め、フロントマンとして誰よりも輝きを放つパフォーマンスが出来るようになります。作業にならないように、今まで学んだことを線でつなげて自分にしかできないパフォーマンスにしていってください。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ライブ実習Ⅱ②		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	アンサンブル応用Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカルパフォーマンス				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	<p>・ミュージカル刀剣乱舞 ～結びの響、始まりの音～ 2018 アンサンブルダンサー出演</p> <p>・AKB48 41stシングル選抜総選挙、湘南乃風 風伝説 第二章 ～雑巾野郎 ボロボロ一番星 TOUR2015～ 演出、振付、出演</p> <p>・「倉木麻衣 / あしたセレンディピティ」ミュージックビデオ、「CHUCKY / YELLOW MONKEY」ミュージックビデオ出演</p> <p>上記の経歴を活かし、職業として求められる「歌唱とダンスの技術、表現力等」の指導を行う。</p>				
授業概要					
ライブ実習Ⅱ①と同様、課題曲を使ってダンス&ボーカルの表現力・クオリティをあげる。映像撮影後自己チェックし、客観的に自己確認する。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスブルな楽曲により、ボーカルのアプローチを学ぶ。 ・応用としてのステージエンターテインメントの意識向上。客観的視点を育てる。 ・ダンスボーカルとしてのクオリティが上がる。・フロントマンとしての心構え、メンバー、スタッフへのリーダーシップ向上 ・ステージ全体のアンサンブル力向上 ・ステージで、実際の現場と同じように周りのスタッフとやりとりができる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	課題曲①アップテンポ女性曲、POPSリズムに乗りペース配分を考えてメリハリをつける。
【前期】 5～8回目	課題曲②アップテンポ男性曲ROCK、滑舌よくリズムにのり叫ぶところは叫ぶ、ワイドな歌唱。
【前期】 9～12回目	課題曲③ミドルテンポ女性洋楽、英詞のもつリズムをアナライズしてアクセント、響きを学ぶ。
【前期】 13～16回目	課題曲④ミドルテンポ男性洋楽、英詞のもつリズムをアナライズしてアクセント、響きを学ぶ。
【前期】 17～19回目	課題曲①～④の中からLIVE実習にむけて選曲し、リハを重ねる。 ■前期試験:ライブ実習Ⅱ①に基づき課題曲の歌唱により「曲の理解 / ピッチ / グルーヴ / 表現力」の到達度を確認する。
【後期】 20～23回目	課題曲⑤ミドルバラッド女性Vocal曲、ビブラートなどのバラッド技術を学ぶ。
【後期】 24～27回目	課題曲⑥ミドルバラッド男性Vocal曲、ビブラートなどのバラッド技術を学ぶ。
【後期】 28～31回目	課題曲⑦6/8などのバラッド曲、難しいリズム、3連を感じて歌う。
【後期】 32～35回目	課題曲⑧7/8や5/8が入る曲、キメなどをしっかりおとさずに巧みにのって歌う。
【後期】 36～37回目	課題曲⑤～⑧の中からLIVE実習にむけて選曲し、リハを重ねて発表。 ■後期試験:ライブ実習Ⅱ①に基づき課題曲の歌唱により「曲の理解 / ピッチ / グルーヴ / 表現力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「曲の理解 / ピッチ / グルーヴ / 表現力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ダンスボーカルとしての歌のクオリティを上げるだけでなく、表現力を深め、フロントマンとして誰よりも輝きを放つパフォーマンスが出来るようになります。ライブ実習Ⅱ①の授業と合わせて作業にならないように、今まで学んだことを線でつなげて自分にしかできないパフォーマンスにしていってください。
備考	